

福津の今昔

～変わる風景 変わらない風景～

久しぶりに訪れてみると懐かしさを感じるふるさとの風景。以前、田畑だった場所や電車が通った道は住宅が建ち並び、街並みや景観は大きく変わってきました。今、当たり前そこにある風景の写真を見ながら、その歴史を少したどってみましょう。

No.
232

発行



福津市

〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

☎42・1111 (代表)

編集

人事秘書課

印刷

久野印刷株式会社



▲令和6年3月29日の津屋崎橋(上)と99年前の大正14年3月13日の津屋崎橋(下)。船の違いからも時の流れを感じます

渡半島の入口に架かる津屋崎橋は、大正11年(1922年)に木製の「はね橋」として完成しました。帆船の通行時には、中央が開き、はね上がった橋は約7メートルの高さがありました。

その後、老朽化が激しく危険になったため、昭和50年(1975年)から架け替え工事が始まり、昭和53年に現在のコンクリート製の橋が完成しました。4月28日の完工式には、県知事や地域の人々などが渡り初めをして、小旗を振りながら旧津屋崎町をパレードしました。